



朝の光は沃野を染める

ogasa

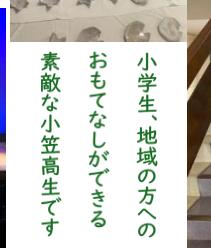
青春の季節に生きる意味を

令和 7年 7月 30日
静岡県立小笠高等学校
小笠高校だより vol.3

鶴ヶ丘祭大成功! 多くの御来場ありがとうございました!



自分たちで
盛りあげられるって才能



広島高校総体 女子 400m障害 鍋田彩奈出場!!



鍋田さん静岡県旗手に拔擢



駆け抜けた、夏



全国大会の舞台で、自分を信じて駆け抜けた夏、レース直後の彼女は「う〜ん、悔しい」でした。それだけ、陸上を愛し陸上に打ち込んだ青春だったのでしょう。彼女も、そして進路に向かう小笠高3年生の人生はこれから!!悔しい思いがある人は、またさらなる高みを目指して、駆け上がっていくはずです!「志は千里にあり」(小笠高陸上部部訓)

30年前の、小笠高校の選択

スイカ収穫でおどけてみせる生徒

2025年7月参議院選挙がありました。まさに国をあげての選択、小笠高校は総合学科ということもあって、選択の意義深さを踏まえて、夏休み前の校長講話にて主権者教育を実施しました。翻って、30年前、本校は総合学科の道を選択しました。農業高校としての伝統をどう継承すべきかといった産みの苦しみもあったことと思います。現在の小笠。「耕作放棄地を活用した稲作づくり」「原木シイタケ研究」「苦手な芽キャベツをおいしいと感じてもらうため」等、生徒たちが主体的に「農」にかかわる探究的な学びを展開してくれています。素朴だけど自分事とする小笠の探究、私は大きな可能性を感じています。校長

